

# AXIS A4131-E Reader with Keypad

## インストール



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

デバイスのインストールビデオ

## 配線

表に従って、リーダーからドアコントローラーに配線します。

AXIS A4131-E	Axis ドアコントローラー、またはその他のOSDP対応コントロールパネル
B	B
A	A
+	12 V
-	-

## デバイスを構成する


デバイスは入手後即利用可能な標準的なOSDPリーダーとして動作します。機能や設定を構成するには、AXIS Camera Station Secure Entryなどのアクセス管理ソフトウェアを使用します。

### 暗号化通信

#### OSDPセキュアチャンネル

AXIS Camera Station Secure Entryは、OSDP (Open Supervised Device Protocol) セキュアチャンネルに対応し、コントローラーとAxisリーダー間の回線暗号化をアクティブにします。

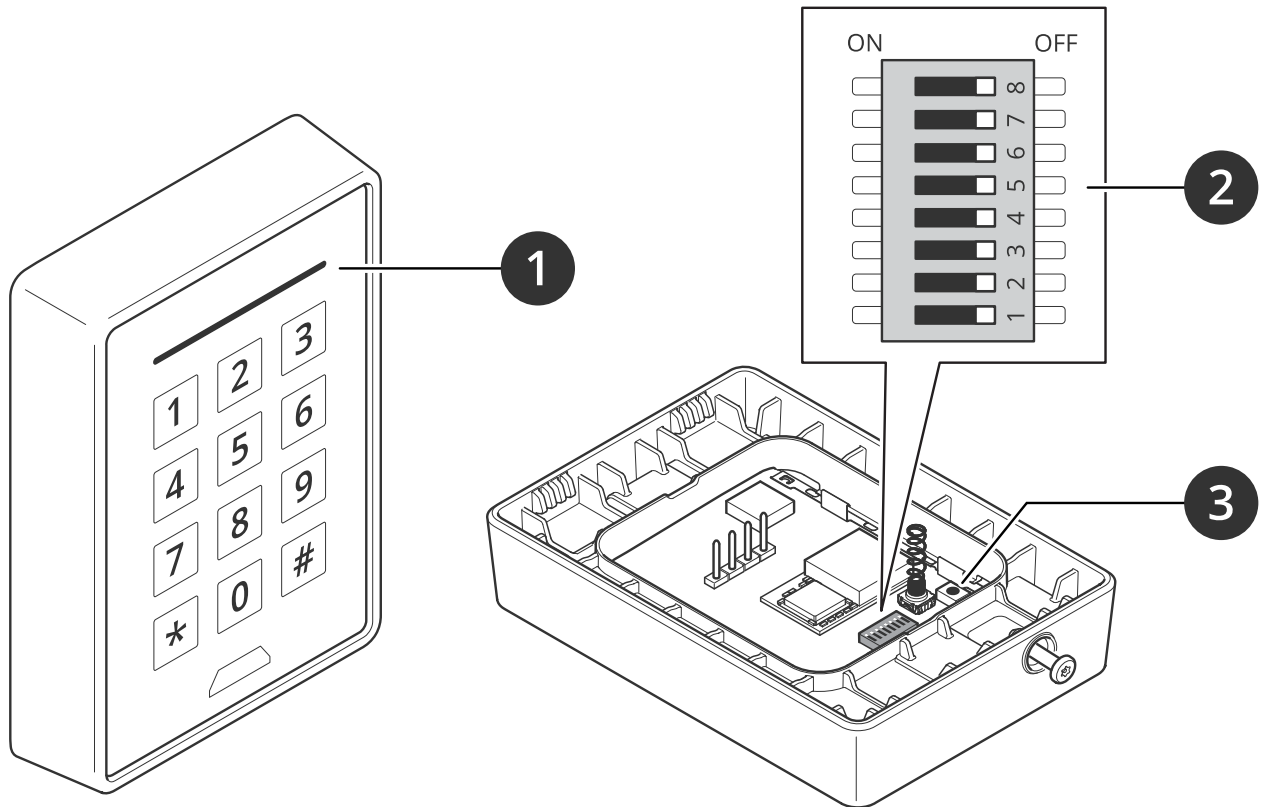
システム全体でOSDPセキュアチャンネルをオンにするには:

1. [Configuration > Access control > Encrypted communication (設定 > アクセスコントロール > 暗号化通信)] に移動します。
2. メインの暗号化キーを入力し、[OK] をクリックします。
3. [OSDP Secure Channel (OSDPセキュアチャンネル)] をオンにします。このオプションは、メインの暗号化キーを入力した後にのみ使用できます。
4. デフォルトでは、メインの暗号化キーによってOSDPセキュアチャンネルキーが生成されます。OSDPセキュアチャンネルキーを手動で設定するには:
  - 4.1. [OSDP Secure Channel (OSDPセキュアチャンネル)]で、 をクリックします。
  - 4.2. [Use main encryption key to generate OSDP Secure Channel key (メイン暗号化キーを使用してOSDPセキュアチャンネルキーを生成する)] をクリアします。
  - 4.3. OSDPセキュアチャンネルキーを入力し、[OK] をクリックします。

特定のリーダーでOSDPセキュアチャンネルをオンまたはオフにする方法については、ドアとゾーンを参照してください。

## 仕様

### 製品概要

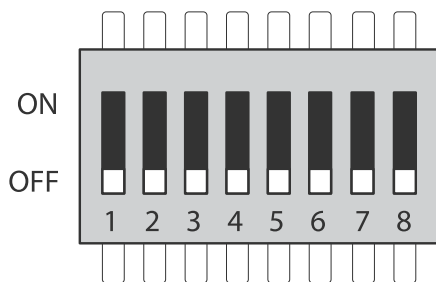


- 1 リーダーインジケーターストライプ
- 2 DIPスイッチ
- 3 コントロールボタン

### リーダーインジケーターストライプ

状態	挙動
オフライン (コントローラーの接続待機中)	3秒ごとに赤と黄色が点滅
オンライン	OSDP仕様バージョン2.2.2にしたがって、OSDP LEDコマンドに応答します。

### DIPスイッチ



DIPスイッチ	デフォルト設定	機能		
1	オフ			
2	オフ	スイッ チ1	スイッ チ2	Address (アドレ ス)
		オフ	オフ	0
		オフ	オン	2
		オン	オフ	1
		オン	オン	3
3	オフ	RS485 120終端抵抗オフ = 無効。OSDPラインの最後のリーダーをオンにします。		
4	オフ	ブザーコントロール。オフ = ブザーが鳴ります。オン = ブザー音なし。		
5	オフ	-		
6	オフ	暗号化通信 (セキュアチャンネル)。オフ = 無効。オン = 有効。 セキュアチャンネル機能は、ハードウェアまたはAXIS Camera Station Proで有効にできます。DIPスイッチ6を使用してハードウェア上で有効にすると、暗号化通信が強制されます。		
7	-	-		
8	-	-		

## ボタン

### コントロールボタン

コントロールボタンは、以下の用途で使用します。

- 製品を工場出荷時の設定にリセットする。工場出荷時の設定にリセットする, on page 6を参照してください。

### ボーレート

デフォルトのボーレートは9600です。変更するには、コマンド `osdp_COMSET` を使います。

## トラブルシューティング

### 工場出荷時の設定にリセットする



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

1. バックプレートからデバイスを取り外します。これにより、デバイスが電源から切断されます。
2. バックプレートからコネクタを取り外します。
3. コントロールボタンを押しながら、鋭利でない器具を使用してターミナルブロックをデバイスのピンに接続することで、デバイスが電源に再接続されます。製品概要, on page 4を参照してください。電源に再接続されると、短いビープ音が鳴ります。これは、コントロールボタンが押されていることを示します。
4. そのままコントロールボタンを数秒間押し続けます。
5. コントロールボタンを放します。再びビープ音が鳴ります。これは、デバイスが工場出荷時の設定にリセットされたことを示します。
6. ターミナルブロックをバックプレートの所定位置に置きます。
7. デバイスをバックプレートに取り付け、ユニットのふたをゆっくりと閉じます。

#### 重要

コントロールボタンを約60秒間長押しすると、ファームウェアが消去されます。新しいファームウェアを再インストールするには、AXIS Access Controllerが必要です。詳細については、リーダーのアップグレードを参照してください。



T10235697\_ja

2026-03 (M1.6)

© 2026 Axis Communications AB